

# N SPORT

## SEATING INNOVATOR

### N SPORT B1 HIACEシートレール 取り扱い説明書

#### はじめに

- ・この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。製品をご使用いただく前に本書をお読みいただき、正しくご使用下さい。商品の仕様など予告なく変更する場合があります。その際は最新の取り扱い説明書を弊社ホームページにてご確認ください。
- ・製品は十分な検査のうえ出荷しておりますが、運送時の破損や損傷及び内容物に違いや不足がないか、取り付けの前に必ずご確認ください。万一、問題がありましたら、お買い求めいただいたお店までご連絡下さい。（製品の出荷から14日を経過した後のクレームは受け付けできません。また、車両への装着後のクレームは、日数に関わらず受け付けできませんのでご注意ください。）
- ・弊社製品を国外でご使用の場合、上記を含む一切のクレームは受け付けできません。
- ・シート内蔵型のサイドエアバッグ装着車には、サイドエアバッグキャンセラーをご使用下さい。（サイドエアバッグキャンセラーに関しては、別紙「サイドエアバッグキャンセラー取り扱い説明書」をご参照下さい。）

#### 安全に関するご注意

- !危険** 製品に加工または改造を施しての取り付け及びご使用は絶対にお止め下さい。
- !危険** 万一の事故などで、製品に著しい衝撃を受けた場合、破損や損傷の恐れがありますので、お買い求めいただいたお店までご連絡いただき、弊社にて製品の検査を受けるようにして下さい。
- !危険** シートレールをスライドさせる際はレバーなどで指を挟まないよう、ゆっくり可動させて下さい。特にシートレールの可動部には手を触れないよう、ご注意ください。指を詰める場合があります、極めて危険です。
- !危険** シートレールがロックされていない状態での走行は極めて危険です。シートレールがロックされているか、走行の前に必ずご確認ください。
- !危険** 思わぬ事故につながる場合がありますので、走行中はスライドレバーなどの調整機構を操作しないで下さい。
- !危険** 清掃などでシートの下に手を入れる際は、突起物に充分ご注意ください。

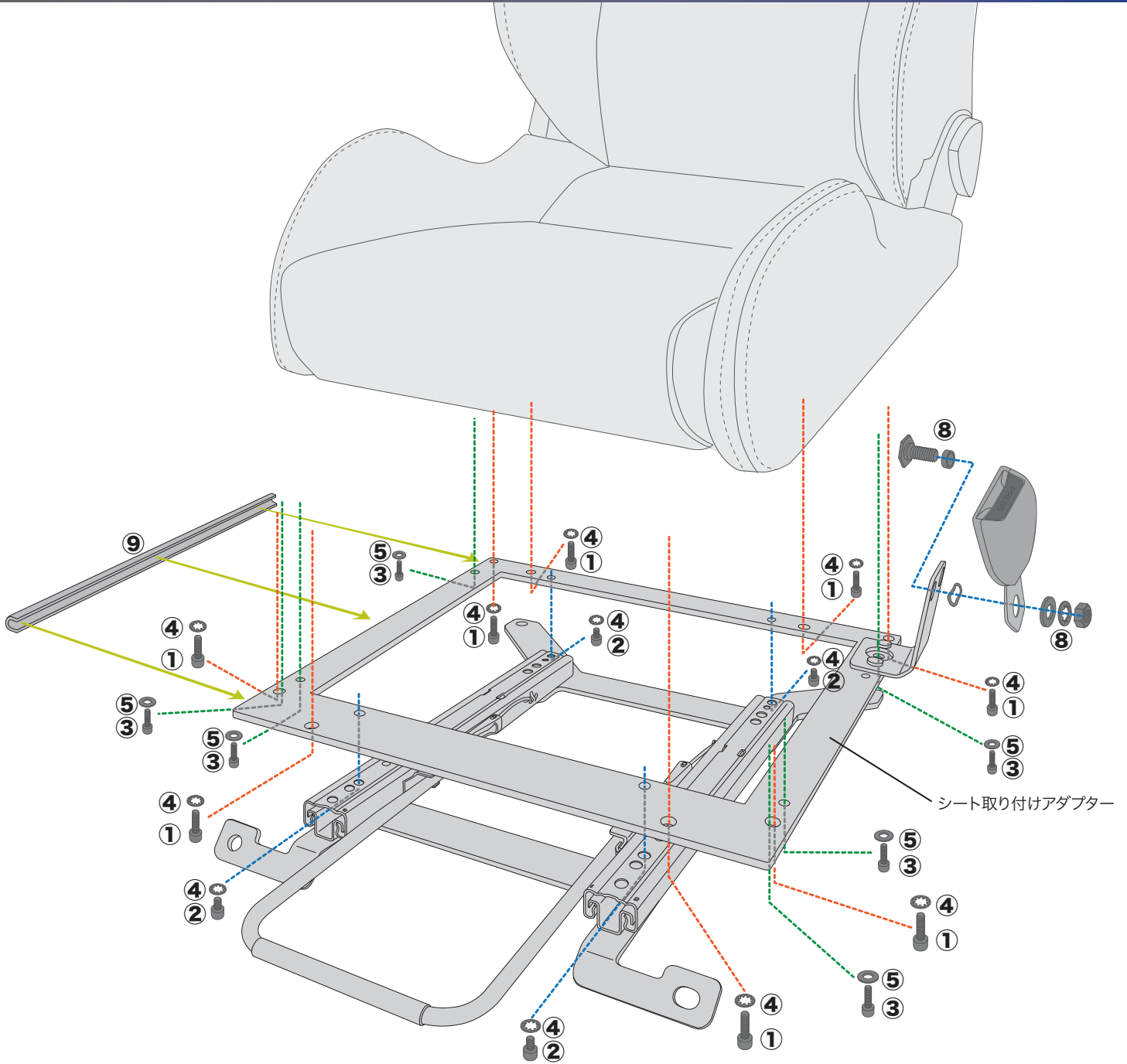
#### 製品の取り扱いについて

・純正シートの取り外し






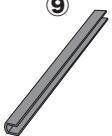
- 1: 純正シートを車体に固定しているボルト（またはナット）を、メガネレンチやボックスレンチなどの適切な工具を使用して緩めます。
- 2: 純正シート及び車体につながる配線カブラーを外し、車内から純正シートを取り出します。この際、純正シートレールの突起物などで車体に傷がつかないように、充分ご注意ください。
- 3: 純正シートに付いているシートベルトキャッチを弊社製品に移設しますので、純正シートから取り外して下さい。（上記は一般的な作業手順になります。詳しい作業手順は、自動車メーカーの整備書をご参照下さい。）

#### 【取り扱い及び取り付けのポイント】

- 1: シートレールに添付されているラベルの表記が、ご使用される車両に合致しているかをご確認ください。
- 2: スライドレバーを引き上げるとロックが解除され、下ろすとロックが掛かります。ロック機構が正しく作動するかご確認ください。
- 3: シート本体にシートレールを取り付ける前に、シートレール（車体取り付けフレーム）を車体のボルト固定位置に合わせて仮置きし、全ての固定位置が合うことをご確認ください。  
製品及び車両の個体差や、車両の経年劣化による歪みから、車体とシートレールの取り付け面に隙間が生じる場合があります。必要に応じてワッシャーなどをご使用下さい。
- 4: 純正シートから取り外したシートベルトキャッチを、製品に付属のシートベルトアンカーボルトセットを使用し、フレームの取り付け位置に取り付けて下さい。
- 5: 必要に応じて面圧センサーの移設を行なって下さい。面圧センサーは原則として助手席側純正シートに内蔵されており、運転席側のみ交換される場合は移設の必要はありません。  
また、純正シートから面圧センサーを取り出しますと、多くの場合、元の状態に戻すのが困難になります。  
交換されるシートに付属していない場合は、あらかじめカーディーラーなどで、お取り寄せされることを推奨致します。
- 6: シート本体とシートレールの取り付けに関しては、各製品の取り付け図をご参照下さい。
- 7: シートレールを取り付けたシートを車内へ移動します。この際、シートレールの突起物などで車体に傷がつかないように、充分ご注意ください。
- 8: シート及び車体につながる配線カブラーを接続します。この際、シートレールをスライドさせて、配線のシートレールへの巻き込みがないことや、他の部分との引っ掛かりがないことをご確認ください。
- 9: 車体への固定は原則として純正ボルトを流用します。シートレールのボルト固定穴は、製品及び車両の個体差や、車両の経年劣化による歪みを考慮して大きめに製作していますので、必要に応じて製品に付属のワッシャーをご使用下さい。前側から全てのボルトを手で仮どめした後、メガネレンチやボックスレンチなどの適切な工具を使用して、確実に車体へ取り付けます。  
ボルトの増し締めは対角線に行ない、締め付けトルクは自動車メーカーの整備書に従って下さい。
- 10: 作業が完了しましたら、シートレールのロック機構が正しく作動するか、スライドレバーとシート（または車体）との干渉がないかを必ずご確認ください。  
シートレールはシートに対しては汎用品のため、取り付けるシートによりスライドレバーが干渉する場合があります。スライドレバーは中空で製作していますので、一定程度、手で曲がります。干渉がない位置に曲げてご使用下さい。  
（電動ドライバーやインパクトレンチのご使用は、オーバートルクやボルトのネジ切れにつながる恐れがありますので、使用しないで下さい。）



- 1: 本書表紙に記載の「取り扱い及び取り付けのポイント」をご参照のうえ、作業を行って下さい。
- 2: (シートレール両端の)スライドレールの前後の位置が、左右でズれていないかをご確認下さい。ズれているとシート本体に取り付けできませんので、前後にスライドさせて位置を合わせて下さい。
- 3: シート取り付けアダプターを②(M8×10mmキャップボルト)と④(8mm内歯座金)を使用してシートレールに仮どめます。  
仮どめたボルトを、それぞれ対角線上に均等なトルク(M8=22.5N・m)で増し締めします。正しい順番、均等なトルクで固定できていない場合、スライド不良の原因となりますのでご注意ください。  
※基本位置(上図)より前方に36mmオフセットさせて取り付けることが可能です。その際は、スライドレールの最前方のボルト固定穴を基点にして下さい。
- 4: 純正シートから取り外したシートベルトキャッチをシートレールのシートベルトキャッチ用ステーに⑧(シートベルトアンカーボルトセット)を用いて移設します。
- 5: シート本体とシート取り付けアダプターをボルトで仮どめます。  
M8ボルト4箇所どめのシートには、①(M8×25mmキャップボルト)と④(8mm内歯座金)を、M6ボルト6箇所どめのシートには、③(M6×20mmキャップボルト)と⑤(M6平ワッシャー)を使用します。
- 6: 5で仮どめたボルトを、それぞれ対角線上に均等なトルク(M8=22.5N・m/M6=9.2N・m)で増し締めします。  
※アダプターのドア側がシートよりハミ出る場合、ケガにつながりますので⑨(保護カバー)をご使用下さい。  
※BRIDEシートでリクライニングレバーがシートベルトキャッチステー固定部分と干渉する場合は、レバーを取り外して下さい。
- 7: 純正ボルトを流用し、車体へ固定します。  
※車両汎用性を高める為に、固定穴を大きくしています。純正ボルト付属のワッシャーが20φ以下の場合には⑥(中ワッシャー)を純正ボルトと併用して下さい。  
必要に応じてシートレールと車体の間に⑦(大ワッシャー)をご使用下さい。

① 	② 	③ 	④ 	⑤ 	⑥ 	⑦ 	⑧ 	⑨ 
M8×25mm キャップボルト	M8×10mm キャップボルト	M6×20mm キャップボルト	8mm 内歯座金	M6 平ワッシャー	中ワッシャー	大ワッシャー	シートベルト アンカーボルト セット	アダプター ドア側保護カバー